

# こどもクリニックニュース

NO. 139 平成23年8月1日発行  
ともながこどもクリニック

## 院長の予定 (2011年9月まで)

8月	5日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	10日	(水)	2才健診	保健センター
9月	2日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	20日	(火)	ポリオ	保健センター

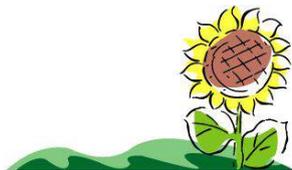
これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

## 休診の予定

8月22日(月)～27日(土) 夏季休診  
ご迷惑をおかけします。

なお、お盆期間中は通常どおりの診療をいたします。

※水曜日は一日休診です。



## 感染症の情報

7月中旬からヘルパンギーナと手足口病が急激に増えてきました。咽頭結膜熱(プール熱)も増えています。水痘の流行も続いています。

ところで、今年の手足口病は「新型?」が多いようです。手足口病の原因は複数のウィルスで、症状は口内炎と手足の発疹、特に手のひらや足の裏に独特の皮疹が見られるのが特徴です。今年は腕全体や太もも～足首までに細かい発疹が出て、手のひら・足の裏に皮疹が見られないパターンが多いです。

初めころは診断に困っていたのですが、インターネットで調べていたところ、どうもこれまであまり流行しなかった型のウィルスが原因となっているようです。全体の経過は良好で、1～2日程度の発熱が出ることもありますが、口内炎の痛みも軽い方が多く、1週間以内に皮疹も消えてしまうようです。特効薬はなく、解熱剤を適宜使うくらいで、自然に治ります。

## 子宮頸がんワクチン 中学生も接種可能!

ワクチンの供給量がさらに増えてきたため、7月20日より、中学1年生～3年生の公費接種も再開されました。

これで只今のところ、中学1年生から高校2年生までの女性が、公費による子宮頸がんワクチンの接種ができることになりました。注意していただきたいのは、高校2年生です。本来の公費接種は高校1年生までが対象です。一時的なワクチン不足の救済措置として高校2年生まで延長されていますが、永遠に継続されることもないはずですので。高校生の方はできるだけ早く接種を開始されることをお勧めします。



暑い夏はまだ続きます。!!!

梅雨明け前後の猛暑のせいで、だいぶ暑さに慣れてきたことと思いますが、まだまだ油断しないでください。節電にからんだ話の繰り返しになりますが・・・

電力不足が問題になるのは「昼間」の話です。

多くの工場や企業が仕事をしている「昼間」、とりわけ気温が最も高くなる午後1時～4時頃がもっとも電気の需要が多くなり、突然の停電が恐れられています。夕方～夜間・明け方までは、電力に十分な余裕があります。今の節電の最大目標は昼間のピーク電力の低下なのです。電気の無駄遣いは良くないですが、一日中がんばりすぎて体調を崩さないようにしてください。



## 新しいワクチンに関する情報

### 子宮頸がんワクチン

現在日本国内で使用されているワクチンは、商品名「サーバリックス」と言いますが、世界では2種類のワクチンが使用されています。日本でも近いうちにもう一つのワクチン「ガーダシル」が使用できるようになるそうです。

子宮頸がんの原因となっているのはヒューマンパピロマウイルス（HPV）ということが分かっています。HPVには多くの種類がありますが、子宮頸がんの70%は「HPV16型」と「HPV18型」の二つが原因だと言われています。サーバリックスとガーダシルは、いずれもこの2種類のウイルス感染予防に有効です。ガーダシルはさらに「HPV6型」と「HPV11型」にも有効ですが、これらの型のウイルスは「がん」ではなく「尖圭コンジローム」と呼ばれる皮膚病（主に陰部にできるイボの一種）を引き起こします。

「子宮頸がんの予防効果」という観点で見れば、ふたつのワクチンの効果は同じですし、接種回数も同じ（合計3回）です。「尖圭コンジローム」の予防もできるというプラスアルファの効果を期待すればガーダシルの方が多少お得ということになります。

問題は、ガーダシルはまだ発売されていないこと。近いうちに発売されたとしても、すぐに大量のワクチンが供給されるかどうか不明なこと。合計3回の接種は同じワクチンを使う必要があること。無料で接種できる年齢が決められていること・・・などが考えられます。

ガーダシルを強く希望される方で、（無料接種の対象となる）時間に十分な余裕があるかたは、接種開始をしばらく見合わせることも一つの選択肢でしょう。

### ロタウイルスワクチン

ロタウイルスは胃腸炎の原因となるウイルスの一つですが、そのワクチンが発売予定とのこと。注射ではなく口から飲むワクチンのようです。

今のところまだ、対象年齢や接種回数、値段などの情報がありません。いずれまたお知らせします。

### 不活化ポリオワクチン

ポリオウイルスの感染予防として現在、日本では「経口・生ワクチン」が使われていますが、世界の主流は不活化ワクチン（注射）です。

最近入った情報によると、国内でも不活化ワクチンが開発中であり、早ければ来年度中に厚生労働省の認可（使用許可）が下りる見込みとのこと。ただ、認可が下りたとしても、十分な量が生産されるまで時間がかかると思われますので、実際にお子様たちに使用できるようになるのはさらに先の話でしょうね。

## ヒブ・肺炎球菌・三種混合ワクチン

### 単独で接種するなら・・・

これらのワクチンの同時接種をした乳幼児が亡くなったという報道が相次ぎ、一時的な見合わせまで発展しました。その後、専門家による詳細な検討の結果「ワクチン接種・同時接種と死亡とは関連性が認められない」という事実上の安全宣言が出されました。それでも不安な気持ちが消えないため、「単独（個別）で接種したいが、どのような順番が良いか？」と質問されることがあります。

そのような方に対しては、私は「ヒブ→肺炎球菌→三種混合」の順番をおすすめしています。最大の理由は、とにかく細菌性髄膜炎を防ぎたいと考えるからです。その他にもBCGやポリオワクチンなど、同じところに接種することになっているワクチンがあり、スケジュールの調整も大変です。個人的には同時接種をおすすめします。



### 平成23年10月までの小児科診療予定

月	日	曜日	当番医
9月	19日	(月)	ともながこどもC
	23日	(金)	ともながこどもC
10月	10日	(月)	ともながこどもC

加須市内の小児科医による休日診療は、4月から10月までは祝日の午前中に実施しています。

※日曜日は対象ではありません。

11月以降は、例年どおり日曜・祝日に実施されるものと思われます。当番が決まりましたらお知らせいたします。この情報は、加須市の広報誌やホームページでもご覧になることも出来ます。

医療機関の事情などで変更になる可能性もありますので、ご利用の際は電話などでご確認ください。

### こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい



携帯用ホームページ

ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150